

あんどくりすの防災四季だより

第1回 放送日：2019.4.5（金）

パーソナリティー：あんどくりす

テーマ：自己紹介



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

みなさん、はじめまして

アウトドア防災ガイドの「あんどくりす」です。

今日からこの番組のパーソナリティーを
務めさせていただきます。



なぜ「りす」なのかな？



この質問は非常に多くて、

「本名なの？」という事は
非常によく聞かれます。



それだけではなく、

「アンドリュースなの？（あんどりうす）」
という質問まで！

「りす」ってかわいい名前だけれど、

「熊みたいな人が来たらどうしよう！？」と、
心配されている人がいたので、

それにもビックリしました。（笑）



「リス」の、
そもそもの由来というのは、

キャンプを盛んにしていた頃に始まります。

<リス>という動物は
冬ごもりに備えて、



ドングリや木の実を
あちこち土に埋めて蓄えておきます。

ところが、埋めた場所を
いくつか忘れてしまうのですね。(笑)

リスが食べ忘れた木の実は、
やがて発芽します。

リスが忘れたおかげで、
森が育ちやすくなるのです。





仲間とキャンプをしている時に、

「あなたはいろいろなことに
首を突っ込むけれど、

結果オーライの事が多いわよね。
(リスみたいね!)」

と言われたんです。



それがきっかけで、

「りすって呼んでね。」と、
キャンプでは、この名前にしました。

本を書くことになって、

私の本名を知らない人が多いので、
この名前をペンネームにしましたから

「りす」になったのです。



「アウトドア」を始めたのはなぜか？

きっかけは、



阪神淡路大震災を
被災した経験からなんです。

1995年1月17日の朝5時47分という、
とても早い時間でした。

私は東京出身ですので、

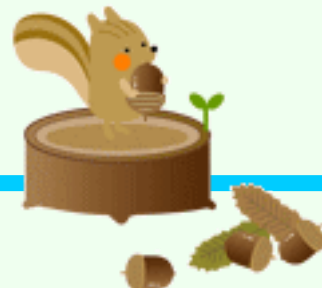
昔から
「地震が来たら、机の下にもぐれ！」 など、

身を守る為の
いろいろな事を聞いてきました。

兵庫県に移り住んだ時は

「ここは安全だから、
地震なんかこないよ。」 と

言われていたのです。



ところがいざ地震が来た時には、もう、
最初から激震！



カタカタとか、
ゆっくり揺れるとか、
だんだん大きくなる、とかいう事は全く無しで、

最初からの激震でした。

真横を
飛行機が通っているような、

巨大な轟音に最初から包まれて、

な～んにもできないまま、
このまま亡くなってしまうのかと、

それはすごく不安になりました。

いろんなことが
グルグル頭に巡ってくるけれども、



でも全く何もできない。

自分の手を頭に上げて身を守る、
そういうことも全くできないまま、

机の端から端まで、
ただ揺らされているだけ。

という体験でした。





余震が多く、非常に怖くて、

いつも
心臓がドキドキしているような状態でした。

最初の本震で
家にヒビが入っていたので、

次の余震でつぶれたらどうしよう？！

そうなった時に、

2階から脱出するには
どうやって出ればよいのだろう？

(ロープを使って降りるにしても)

黄色と黒の固いロープが
防災セットに入っているけれども、

1回も使ったことが無いなあ と思いました。





そういうことがあって、

これからは、

アウトドアの事が出来ないといけないな。

今まで生きてきたけれど、

「命を守る」という大切なことを、
何も学んでこなかったな。

と、つくづく思いました。

その後
気持ちが落ち着いてから、

アウトドアの世界に入るようになりました。





実際にやってみる

ロープを使って、
岩場から降りてみたいと思いました。

が、突然にはできませんよね？（笑）

まず何をしたかというと、
アウトドアができる人と、お友達になりました。

その頃は、
アウトドアやクライミングのスクールなどは
あまりなかったので、

まず、お友達作戦ですね。

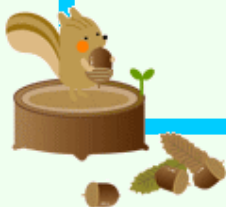
なぜか、カヌーから始めました。

それから、
雪山のキャンプ。

と言うと、いかにもスゴそうですが、
山の上には登らず、平地で。（笑）

ただ、雪があるところでキャンプをしてみる。
という、

ゆるく楽しくできるキャンプを、
友達を作ってやってみました。





ロープを使えるようになると、
実際に防災セットで売られているような

トラロープ(黄色と黒の固いロープ)の事が
気になってきました。

あのロープはいったい
何のためにセットに入れているのだろう？

そもそも
クライミングで使われるようなロープは、
命が守れる物です。(＊1)

トラロープとは異なり、
伸びるし、とても長いロープです。

(＊1)

フリークライミングで使用するのは、
ダイナミックロープという種類。

墜落時の衝撃を緩和するために、伸縮性がある。
一般的に、長さは30～80m。



ところで、あのトラロープは、
災害時にどのように使っているのか？

ここは危険！ というサインにするくらいで、
あまり使われていない。

という事が分かりました。(笑)



災害時に使えるのはアウトドアのスキル

アウトドアのスキルには、
自然の中で過ごすための知恵が、
たくさんあります。

アウトドアを体験するうちに、

寒いときに、
寒くない格好はこうすれば良いなど、

自分の中に
アウトドアのスキルは
身に付いていきました。



結婚して、
子供が生まれてからは、

どうやって子供を守ろうか？ と
考えるようになりました。

そのようなことがきっかけで、
いろいろな方に
防災の事を話すようになりました。





今後この番組では、

季節に合わせた防災の知恵や
春の服の着方のコツ、

水の中での力の強さの対処法、
クライミングでの脱出スキル などを

お伝えしていきたいと思っています。

どうか楽しみにしててください。

(TEXT/はしも)

